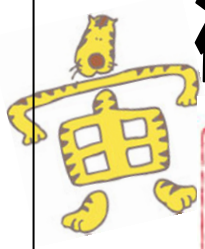




ロータス林の わくわく通信

謹賀新年



あけましておめでとうございます

初春

22年1月5日発行

一月

明けました。おめでと〜いませう。今年も『寅』年ですね〜。

虎にまつわる諺に「虎は、千里往つて千里帰る」という言葉がありますね。虎は、一日に千里(四千米)の遠方まで行くけれども、子を思い千里の道を帰ってくることから、一日で千里(四千米)を往復するという元氣、勢いを表すとともに、子を思う親の愛情がきわめて強いことのとえとして使われています。

さあ、どのような一年になるでしょうか・・・株式の格言で使われる時には、勢いの良さを表す言葉として捉えられるそうですが、「虎のように元氣よく値上がりする銘柄ほど元の位置に戻るのも早い」という意味だそうですね。有頂天にならず、深追いは避けたほうがよいと説く方もいらっしやるそうです。世界の状況も、政治も、環境の問題も、先の明るい一年になりますように。

株式会社 林自動車

〒770-0012

徳島市北佐古二番町4-44

TEL 088-631-6685

FAX 088-631-5151



寅フグ〜〜〜！  
フグフグフグ〜!!!



フグの種類は、185種あるらしく、そのうち食用にするのは、トラフグ、マフグなどが有名で、冬と言えば、フグ鍋ですよ〜。てっちり、てっさ、白子、から揚げ、フグ肝、どれを食べても美味しいですね〜。

さて日本で、フグ食が禁止された時代があります。豊臣秀吉は全国に『ふぐ食禁止令』を命じ、また徳川幕府においても、当主がふぐ毒で亡くなった場合は「主君に捧げなければならない命を、己の食い意地で命を落とした輩」として、家名断絶になっらしいです。家名をかけてまで食べたいほど、美味しかったんですね。

徳島で、フグの美味しいお店と言えば、雑貨町西開にある『富貴』さんが有名ですので、ぜひ新年会などで行って見てはいかがでしょうか。オススメです！  
お問合せはこちらまで TEL088-669-2986



ファッション

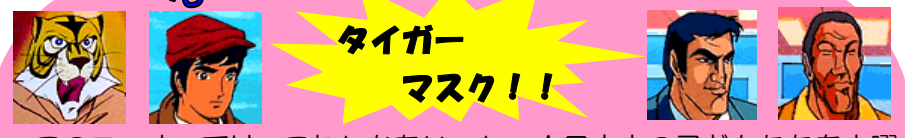


今年も、寅年にちなんで、『虎ファッション』が復古ムードで虎の強靱な勢いでジャンプしているらしいです。

虎柄のロングコート、虎柄ブーツなどが、爆発的な流行を見せる事が予想されるそうですね。

本年も 宜しく頼む ことばかり  
寅フグで ツキを呼び込む 鍋つつき  
ジंकスは すべて試した ジャンボくじ  
宝クジ 当たって辞表 書いた夢  
正月の おせちでおなか 三段重  
今年こそ なってみせるぞ 正社員

なつかしのアニメコーナー



タイガー マスク!!

このコーナーでは、これしかないっしょ！日本中の子どもたちを木曜日の7時から30分TVに釘付けにした不朽の名作『タイガーマスク』！エンディングに流れた『みなし児のバラード』に毎週子ども心に涙しました〜。

時は昭和44年日本プロレス会が、ジャイアント馬場、アントニオ猪木のB1砲全盛の時代に放映された『タイガーマスク』。

ストーリーは、日本のプロレス界に、初の日本人悪役レスラーとして登場した『タイガーマスク』。悪役レスラー養成機関『虎の穴』出身で、ニューヨークのマジソン・スクエアガーデンでデビュー以来、虎の穴の掟に従い、残虐非道を繰り返す反則レスラーで、『黄色い悪魔』として恐れられていました。日本に帰国後、自分の育った孤児院『チビッコハウス』が、資金難で借金の返済もままならないと知り、また、無敵のレスラー、タイガーマスクに憧れる健太たちみなし児のために、自分のファイトマネーで借金返済を申し出るんですよ〜。

『虎の穴』への上納金を納めることができなくなったタイガーに、裏切り者を抹殺するため『虎の穴』は次々とタイガーに刺客を送ります。負けるなタイガー！

タイガーが、孤児院に寄付をしていることを知っているジャイアント馬場は、全面的な協力をして、たびたび登場します。若獅子と呼ばれたプロレス界のNO2の猪木も・・・

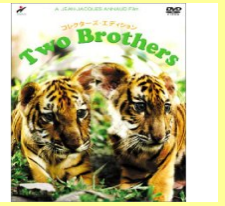
いや〜〜、懐かし〜い。全105話。DVDボックス、買いたくなってきた。



なつちゃんの、オススメ映画コーナー!!

『トゥー・フラザース』

虎が演技してるうー!! 離れ離れになる時の悲しみ、再開したときの嬉しさ、二匹のトラの表情と、セリフなき会話に感動する作品です。



ストーリーは、カンボジアのアンコールワットの遺跡で、パパ虎&ママ虎と幸せに暮らす双子の兄弟、サンガとクマル。そこへ、仏像盗掘のためにやって来たイギリス人冒険家に見つかってしまい、パパ虎が射殺されてしまいます。ママ虎が、必死で子どもたちを守ろうとしますが、サンガとクマルは捉えられてしまいます。

時は流れて、クマルはサーカスへ、サンガは果たし合いの虎へ調教されます。偶然にも再会したのは、闘技場で、トラVSトラの相手としてでした。威嚇し合い、戦闘態勢の二匹、お互いの瞳を見ながら取っ組み合いをしているうちに、「あれ?もしかして?どんなに会いたかったことか、兄ちゃん」「弟なのか」と幼い頃の記憶が蘇ってきました。ひっこく戦いを強要する人間たちに牙を剥いて闘技場から脱出する二匹。

村人が放った火の中を逃げるサンガとクマル、サーカスで、火の輪くぐりをしていたクマルが、火を怯えるサンガに、「こっやって飛ぶんだよ」と、お手本を見せて帰ってくるシーンは、美しかったです。

ラストは、果たして・・・ぜひぜひ、オススメの一作です。